

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちょこらんど		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 6 年 7 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 6 年 7 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 8 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が多く、医療的ケアの充実、安全な過ごしを提供できている	狭い空間にもかかわらず、ベッドの確保や空間の有効利用を工夫している	今後の感染個室等の確保のために移転計画を企画中。 今ある空間と人員を有効利用する
2	チームワークは良好で、多職種(保育士、リハビリスタッフ、看護師)で情報共有できている。	毎月の活動会議実施、個別支援計画作成し、月の振り返り会議を行い、翌月への支援計画に反映できている。 ケース会議も担当中心にプレゼンしている	定例会議を継続し、情報共有と更なる支援の充実を図る
3	地域の医療的ケア児支援関係の研修会や会議にも出席している	医療的ケアコーディネーターとも情報共有を頻繁に行い、連携を図れている。 地域の療育教室、療育センター、保育所などとの連携をしっかりとっている。	圏域での医療的ケア児、重症児の療育支援の中心的役割を果たしていくため、関係個所とさらに連携していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間が狭く、児童一人あたりの大きなバギー、医療機器、持参物品で占める空間が大きくなってきている	特に長期休みは医療機器を必要とする超重症学童が増えるので、空間の工夫を日々苦慮している。感染対策事故防止にも配慮したベッドスペースの確保に努めている	移転による空間の確保、それまでは準個室を活用してスペースを確保
2	登園時、平日は登園後の入浴支援もあるため、また乳幼児はお昼寝の時間もあり、散歩は実施しているが他の事業所や地域との交流場がない。長期休みも超重症児の学童が来るので、事業所から散歩程度しかお出かけできていない	入浴支援とお昼寝時間の確保や外出の機会の兼ね合いの工夫が必要	気候の良いときの集団外出を計画する。 長期休みの午後の1時間程度を外出実施できないか検討する
3			